

富士通におけるCSR調達活動

2012年11月 9日

富士通株式会社 購買本部

久堀 健一 (CSR推進部)

細貝 正男 (グリーン調達推進部)

1. 富士通・購買本部のご紹介

2. 富士通のCSR

3. 富士通のCSR調達

4. CSR調達への取り組み事例

～富士通グループのグリーン調達活動～

富士通・購買本部のご紹介

1-1 富士通の事業内容

その他
835億円

1.7%

デバイス
ソリューション
5,847億円
12.3%

ユビキタス
ソリューション
11,542億円
24.3%

2011年度
セグメント別
売上高

テクノロジー
ソリューション
29,349億円
61.7%



富士通テクノロジーソリューション本社
(ミュンヘン)



2WAY4Uラック型サーバ
[PRIMERGY RX350 S7]



システムボードを斜めに実装することでラック内に
空気の流れをつくり、熱を効率的に除去

システム	性能目標 10ペタフロップス CPU数 8万個以上 総メモリ量 1ペタバイト以上
CPU	SPARC64™VIIIfx (8コア、128ギガフロップス)
インターコネク	6次元メッシュ/トラス結合 (Tofu)



軽量ボディと省スペース設計を
実現したデスクトップPC
[ESPRIMO EH30/GT]



WMAX搭載ハイスペック
防水スマートフォン
[ARROWS Z ISW11F]



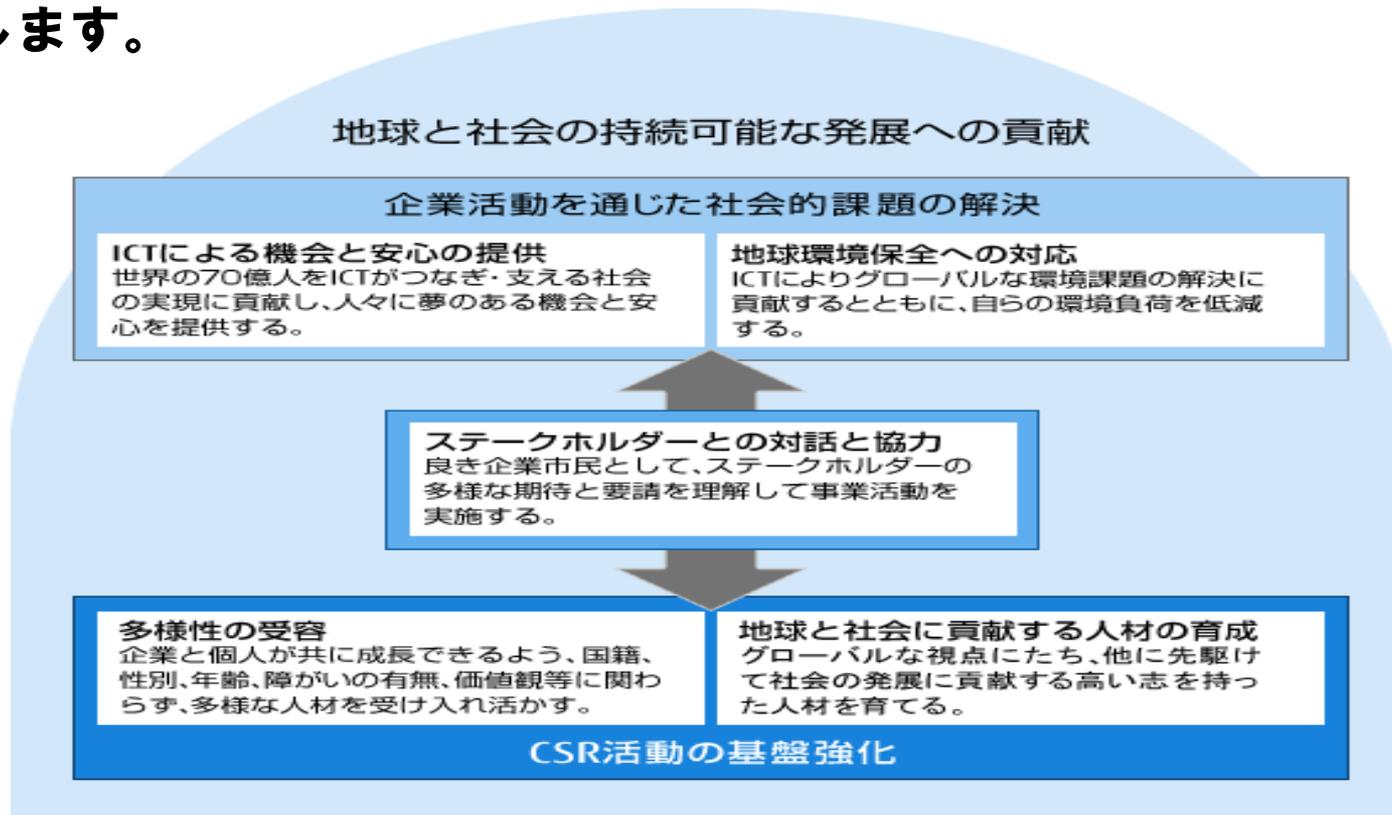
カーナビゲーション
[AVN-F01i]

富士通のCSR

2-1 富士通のCSR ①

富士通グループCSR基本方針（2010年12月制定）

- 富士通グループのCSRは、FUJITSUWayの実践です。全ての事業活動において、マルチステークホルダーの期待と要請を踏まえ**FUJITSUWayを実践することにより、地球と社会の持続可能な発展に貢献します。**
- CSRの実践にあたっては、下記の5つの課題に重点的に取り組みます。これら課題への対応を通じて、グローバルICT企業として責任ある経営を推進します。

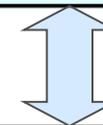
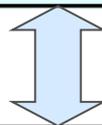
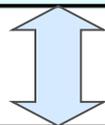
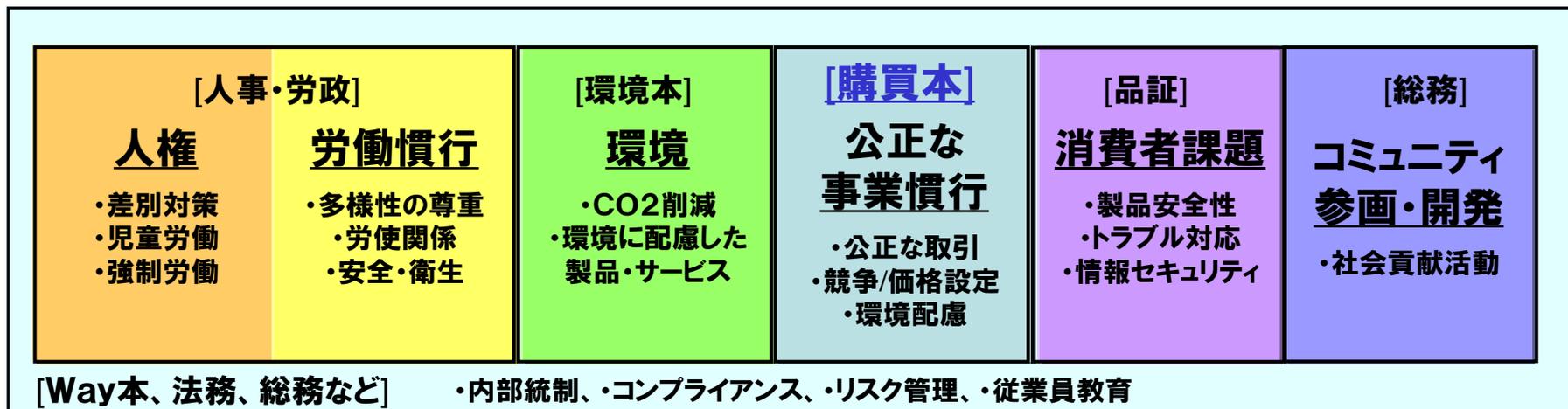
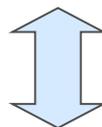
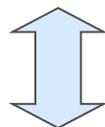


2-1 富士通のCSR ②

社員

Fujitsu Way の浸透

[Fujitsu Way 推進本部]



企業レピュテーション向上

[政策渉外室]

お客様

お取引先

株主
投資家

地域社会

政府

NPO
NGO

社員



FUJITSU Way

企業理念

富士通グループは、常に変革に挑戦し続け、快適で安心できるネットワーク社会づくりに貢献し、豊かで夢のある未来を世界中の人々に提供します

企業指針

目指します	大切にします
社会・環境	社員
利益と成長	お客様
株主・投資家	お取引先
グローバル	技術
	品質

行動指針

良き社会人	チャレンジ
お客様起点	スピード
三現主義	チームワーク

行動規範

- 人権を尊重します
- 法令を遵守します
- 公正な商取引を行います
- 知的財産を守り尊重します
- 機密を保持します
- 業務上の立場を私的に利用しません

富士通のCSR調達

FUJITSU Way

富士通グループの企業・社員の
理念・指針

調達方針

富士通が遵守する事項

- ① お取引先との共存共栄
- ② お取引先の公平・公正な評価・選定
- ③ CSRに配慮した調達活動の推進

CSR調達指針

富士通が遵守し、取引先にも
遵守を要請する事項

CSR推進ガイドブック

CSRの具体的な取り組み事例

(JEITAのガイドブック準拠)

(1) 地球環境保全

「富士通グループグリーン調達基準」に基づき、環境マネジメントシステムの構築を推進するとともに、環境負荷が少なく、有害物質を含まない製品・サービスを供給します。

(2) 法令遵守（コンプライアンス）

国内、海外を問わず、法および社会規範を遵守し、いかなる場合もこれらに違反しません。

(3) 人権尊重・労働・安全衛生

- ・一人ひとりの人権を尊重し、人種、皮膚の色、宗教、信条、性別、社会的身分、障害等による不当な差別やセクシュアル・ハラスメントなどの人権侵害行為をしません。また、そのような行為を助長または許容しません。
- ・従業員の安全と健康のため、快適な職場環境を実現します。
- ・児童労働、強制労働を行いません。

(4) 製品・サービスの安全性・品質の確保

製品・サービスの安全性と品質を確保します。

(5) 情報セキュリティの維持・推進

CSR調達指針

自社および第三者の情報・情報システムを適切に保護するため、情報セキュリティを維持・推進します。

(6) 公正取引・企業倫理

①公正な商取引： 公正、透明、自由な競争を尊重し、不公正な手段による商取引を行いません。

②秘密情報・個人情報の保護：

自社で保有、流通している情報は、自社の秘密情報、第三者の秘密情報、個人情報など、その種類に応じて適切に利用、管理します。

③知的財産の保護：

知的財産は、企業活動を支える重要な経営資産であることを理解し、その権利の法的意味をよく認識した上で、権利の取得・確保、活用に努め、自社の権利を守るとともに、他社の知的財産を尊重します。

④贈収賄等の禁止： 公務員等に対する贈賄および業務上の立場を利用した収賄、強要、横領等を行いません。

3-3 富士通CSR調達展開ステップ

■ 第1ステップ CSRへの注意喚起

(06年3月～)

- ・ CSR調達指針の公表 (当社の要請事項を明確化)
- ・ 書面送付 (遵守の依頼)

■ 第2ステップ CSRへの意識向上

(07年11月)

- ・ CSR説明会の開催
- ・ CSR調査票の提出依頼

■ 第3ステップ セルフアセスメント

(08年2月)

- ・ CSR調査表の結果フィードバック
- ・ サプライヤーによる自主改善
- ・ SPRへの反映 (Supplier Performance Review)

■ その他

(08年11月)

CSR上のリスクが高い地域サプライヤーの人権・労働問題について、詳細な書面調査をトライアルで実施

3-4 (ご参考) 富士通サプライチェーンCSR調査票

構成

- A : CSR全般
- B : 人権・労働
- C : 安全衛生
- D : 製品・サービスの安全性
- E : 公正取引
- F : サプライチェーンマネジメント

内容

A～Fの各項目の実施状況につき、「富士通CSR推進ガイドブック」を参考に該当箇所にチェック

実施

約790社対象に調査 (2011年度)

富士通 サプライチェーン CSR調査票			
I 企業情報の入力			
貴社名		回答日	
対象事業所名			
ご回答責任者所属		役職	
ご回答責任者氏名		電話番号	
E-MAILアドレス			
ご担当者(※)		電話番号	
E-MAILアドレス			
※担当者欄は、本件に関する弊社からの問い合わせ先が、「回答責任者」とは異なる場合にご記入下さい。			
II CSR(企業の社会的責任)項目の取組み状況			
A CSR(企業の社会的責任)全般			
1	会社の経営方針として、社会的責任(CSR)を重視することを明確にしていますか。		
	明確にしている		
	十分ではないが経営方針に含んでいる		
	明確でない/方針を定めていない		
	その他(右記に内容をご記入下さい)	内容	
2	会社全体として社会的責任(CSR)に関する行動規範を定めていますか。		
	定めている		
	十分ではないが行動規範に含んでいる		
	含んでいない/規範を定めていない		
	その他(右記に内容をご記入下さい)	内容	
3	上記2で「定めている」または「十分ではないが行動規範に含んでいる」と回答された場合、行動規範には以下のどの項目が含まれていますか。		
	環境		法令遵守
	労働		安全衛生

3-5 紛争鉱物問題への対応

- CSR調達指針の改訂(2011年11月)
『調達サプライチェーンの透明性確保』および『責任ある
鉱物調達の実践』を宣言

<http://jp.fujitsu.com/about/procurement/>

<紛争鉱物問題への対応について>

富士通は、紛争鉱物※にかかる企業の責任を重要なCSR課題としてとらえ、グループ会社や取引先と連携して調達活動におけるサプライチェーンの透明性の確保と責任ある鉱物調達の実践に取り組みます。

※紛争鉱物:

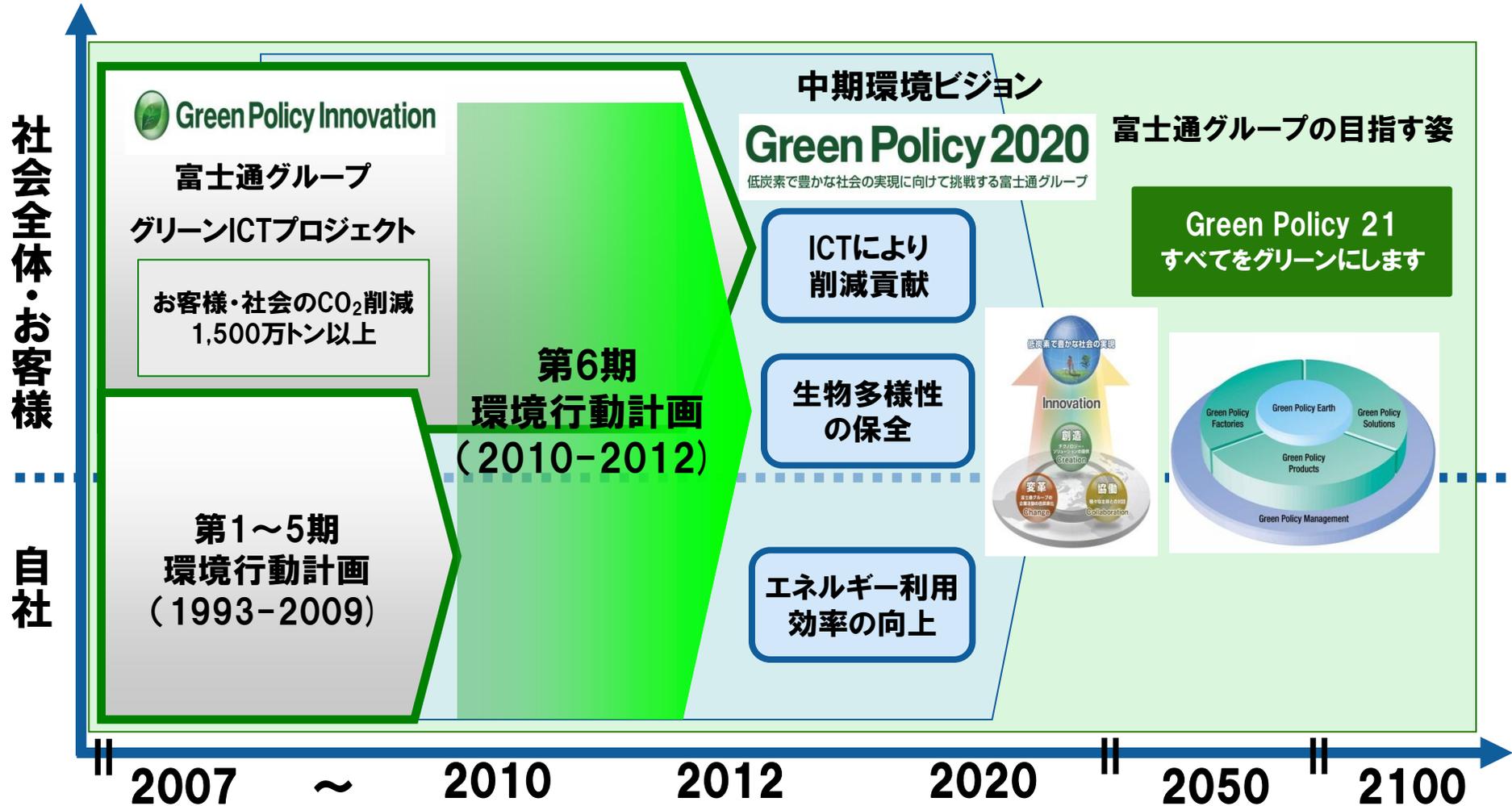
紛争鉱物とは、その採掘や取引が武装集団の資金源となり紛争を助長している、あるいは人権侵害、労働問題等と密接に関連している鉱物をいいます。2010年7月に米国で成立した「金融規制改革法」においては、コンゴ民主共和国および隣接国において産出される鉱物のうち、タンタル、錫、金、タングステン、その他国務省が判断する鉱物を紛争鉱物として、米国上場企業に対し、紛争鉱物を使用する場合の米国証券取引委員会(SEC)への報告義務等が定められました。

JEITAでの活動とも連動し、12年度下期より具体的な活動を実施

富士通グループ グリーン調達活動

4-1 富士通グループの環境活動体系

中長期のビジョンを掲げ、計画的に環境活動を推進



気候変動問題

- ダボス会議 (スイス, 2008.1) :
「IT産業は、全産業のGHG (温室効果ガス) 排出量の約2%を占めるが、残り98%を半減できる」
- 洞爺湖サミット (2008.7) :
「2050年までに世界のGHG排出量を半減させる」

生物多様性の危機

- G8環境大臣会合 (神戸, 2008.5) :
「2010年目標*達成に向けた一層の努力を世界に呼びかける」
*2010年目標:
2010年までの生物多様性損失を顕著に減少させる
- CDP COP9 (ドイツ, 2008.5) :
民間企業の関与を高めるため「ビジネスと生物多様性イニシアティブ」発足



Green Policy 2020

(2008.7.23)

1. お客様・社会全体への貢献
2. 自らの変革
3. 生物多様性の保全

1. お客様・社会全体への貢献

2020年に年間 約3,000万トン(国内)のCO₂排出量削減を目指す。
2020年までに世界の温室効果ガス排出量のピークアウトに貢献する。

CO₂排出削減

2. 自らの変革

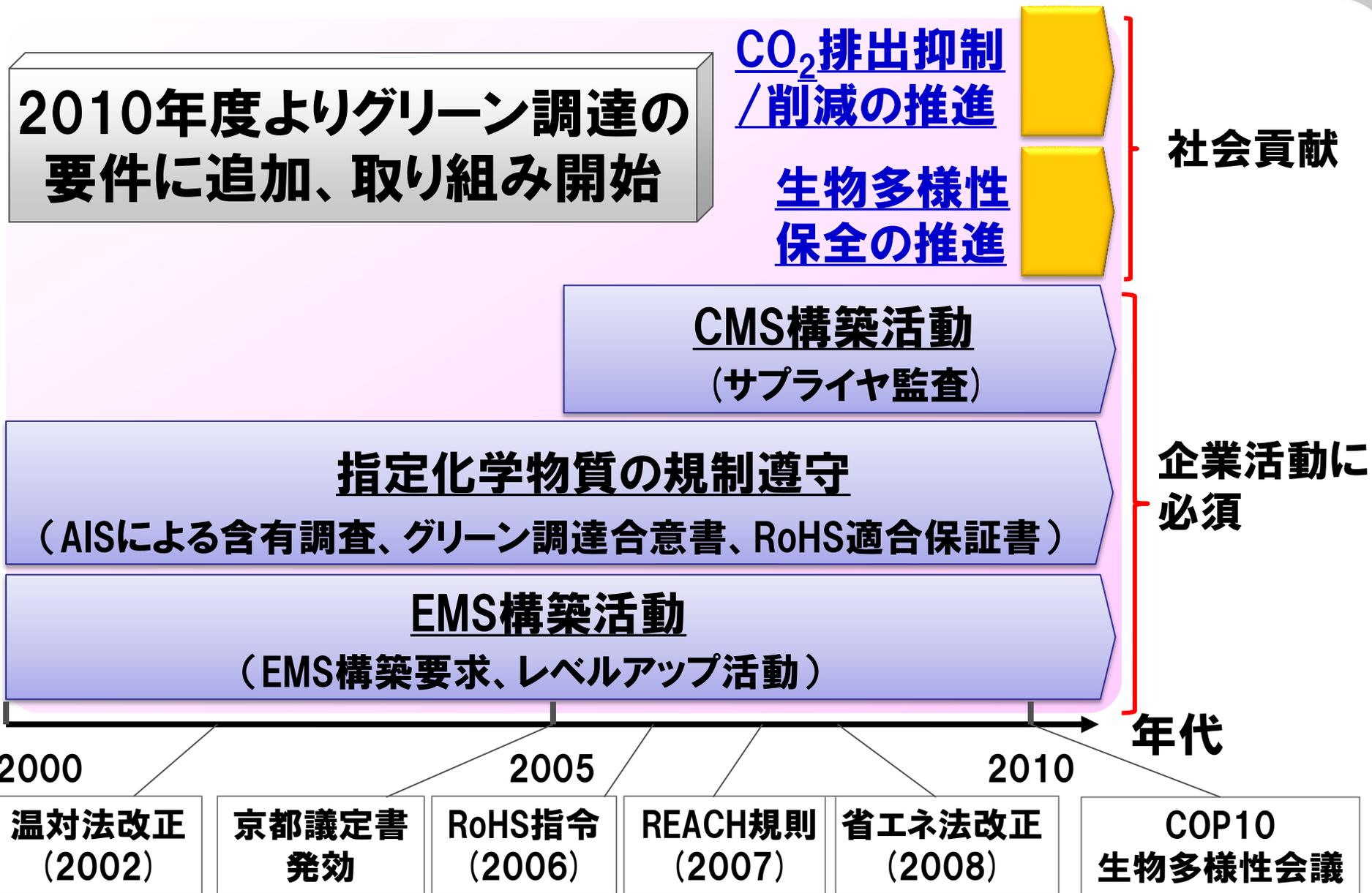
2020年に富士通グループの事業領域における総合エネルギー効率が世界トップレベルであることを目指す。

3. 生物多様性の保全

「ビジネスと生物多様性イニシアチブ」リーダーシップ宣言において掲げられた全項目を推進し、2020年までに具体的な取り組みを行う。

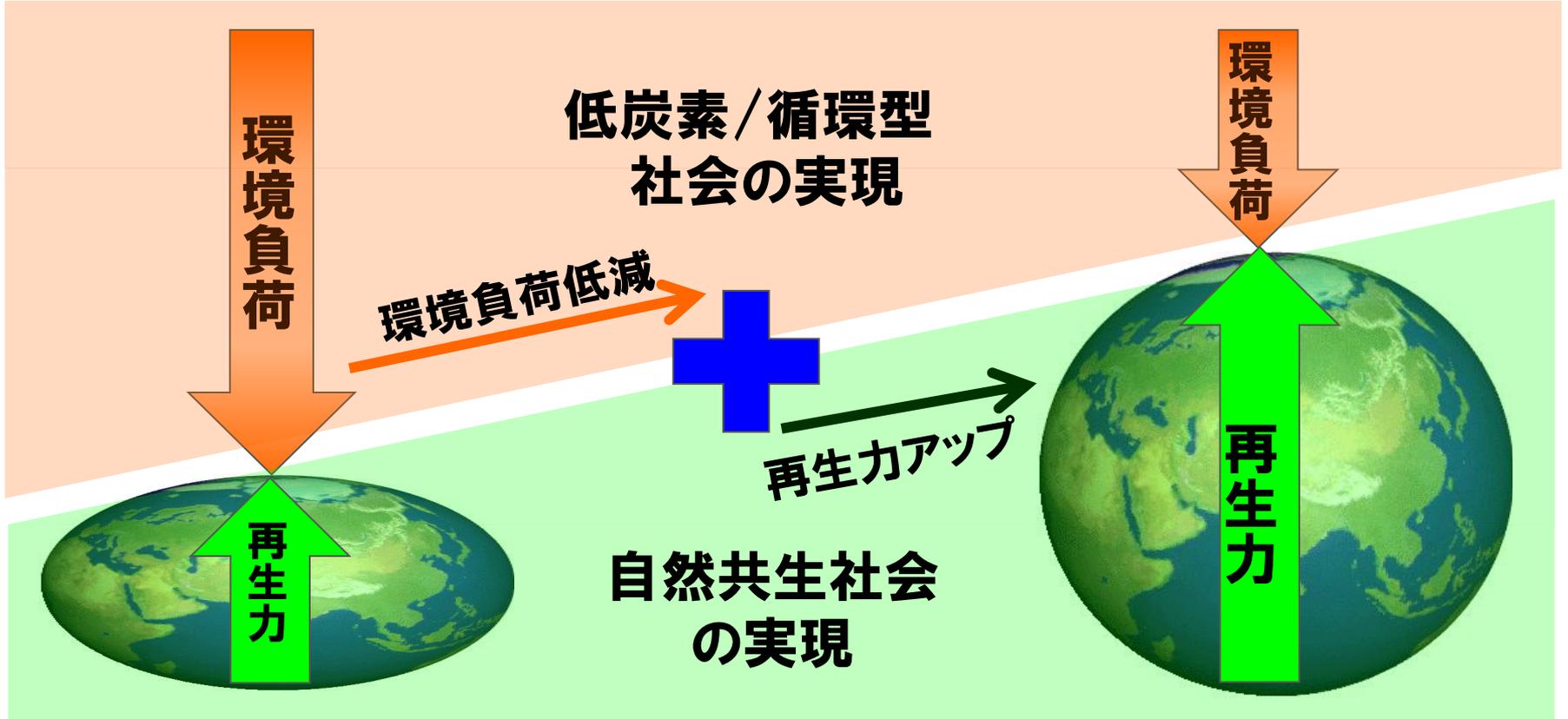
生物多様性保全

4-3 グリーン調達活動の推移



4-4 新テーマに取り組む意義 (1)

温暖化対策活動



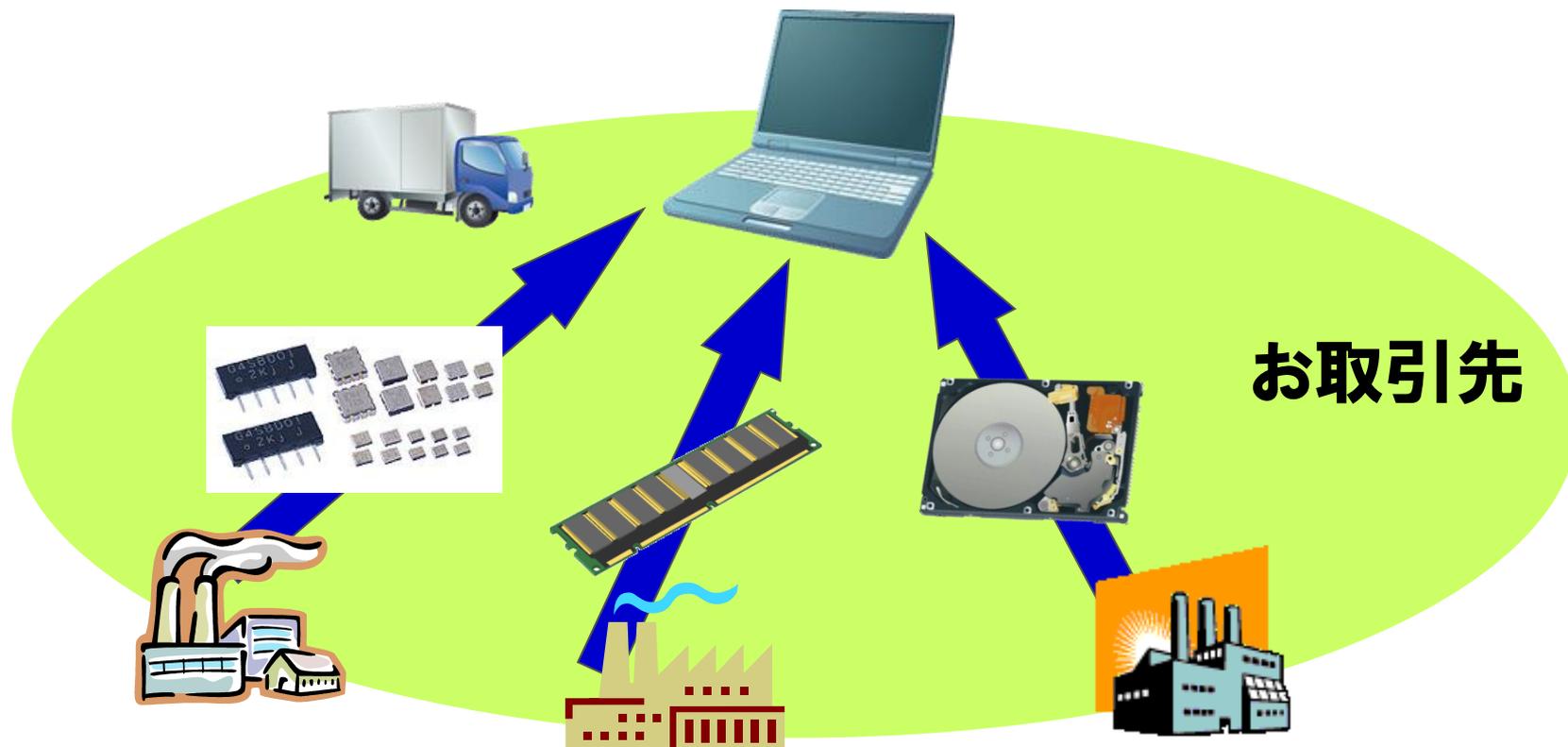
現在の地球
負荷 > 再生力

生物多様性保全活動

本来の地球
負荷 ≤ 再生力

当社が新テーマに取り組む意義 (2)

富士通グループ (製造系グループ会社約30社)



当社グループの活動をきっかけに、サプライチェーンに連なる多くの企業がCO₂削減、および生物多様性保全活動を開始

4-5 第6期グリーン調達活動における目標

【目標】CO₂排出削減、および生物多様性保全の取り組みを実施するお取引先からの調達を推進する

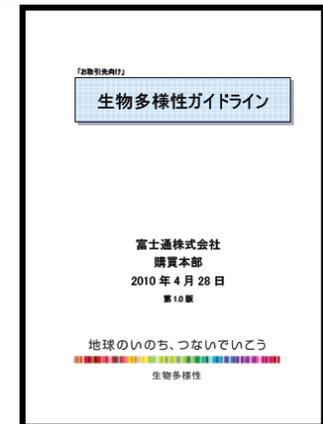
◆お取引先に求めるもの

「CO₂削減」、「生物多様性保全」を重要な課題と認識していただき、企業としての取り組みを開始していただく

※但し、お取引先毎に環境方針や業態が異なるため、具体的な取り組み内容はそれぞれのお取引先が決定

◆お取引先へのサポート

- 教育用教材（ガイドライン等）の創作・提供
- お取引先への情報提供（セミナー開催）

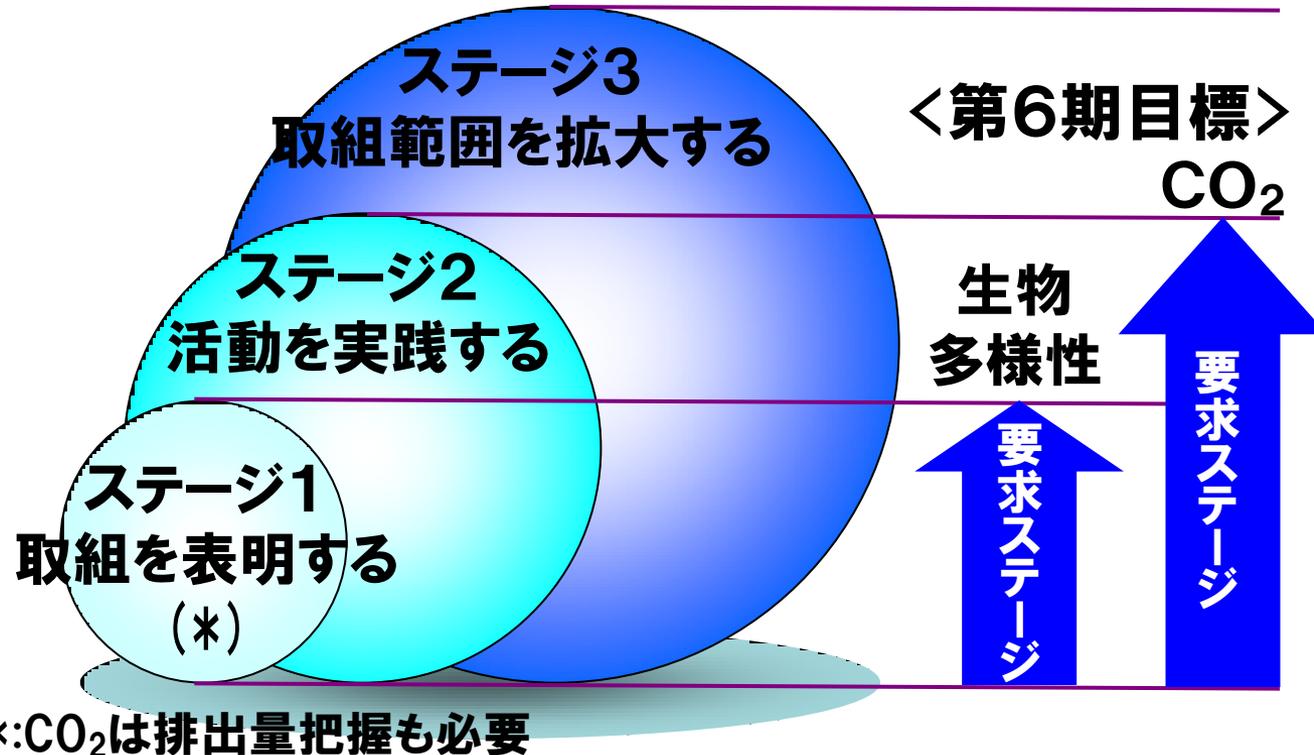


**生物多様性
ガイドライン（*）**

（*）HPにて公開中（ハブサイト：fj-bdg） <http://procurement.fujitsu.com/jp/green.html/>

4-6 評価指標「取組ステージ」の導入

- 活動の取組度合いを表す尺度として、富士通が独自に策定
- お取引先が段階的に活動を展開できるように設計



CO₂はステージ2以上、生物多様性はステージ1以上
 ※富士通は電気電子業界で先駆的な取り組みを推進中

4-7 取組調査～ステージアップの流れ



**取組調査
(進捗確認)**

- 「環境対策調査票」により、お取引先の取組状況を確認



ステージ判定

- お取引先へのフィードバック

当社要求ステージに届いていない場合



**ステージ
アップ活動**

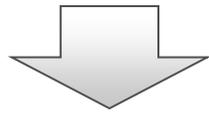
- 「生物多様性ガイドライン」の提供
- お取引先向け教育資料の提供
- お取引先向けセミナーの開催

お取引先の活動状況を定期的に把握し、的確にサポート

4-8 お取引先向け普及活動

セミナー資料作成

- できるだけ分かりやすく、印象に残るよう、**図表を多用**
- 取組開始から活動のステージアップまで役立つよう、**情報を体系化**



- **集合セミナー:**
2010~2011年度**累計80社以上**ご参加
- **出張セミナー:**
お取引先を訪問し、**現地で開催**



出張セミナーの様子



独自資料で、基礎知識から具体的な取組事例まで説明

(ご参考)お取引先参加型の環境保全活動

■日時:2012/10/27(土) 9:30~15:30

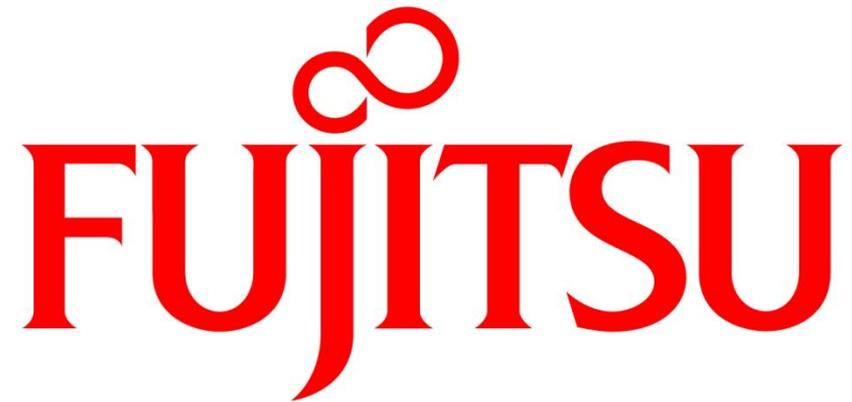
■場所:東豊田保全緑地(東京都日野市)

■参加者内訳:

- お取引先 10社 23名
- 富士通 18名 購買本部長、環境本部長ほか
購買本部の幹部社員、担当者



- お取引先の活動開始のきっかけとしていただく
- セミナー等では得られない、新しい気づきや身近さを感じていただく



shaping tomorrow with you